

製品名: ラブフィリン-3A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16818**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	RPH3A
別名	RPH3A; KIAA0985; Rabphilin-3A; Exophilin-1
遺伝子 ID	22895.0
SwissProt ID	Q9Y2J0
免疫原	抗血清はヒトラブフィリン 3A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 203-252

背景

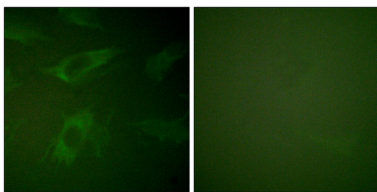
神経伝達物質およびホルモンのエキソサイトーシスは、シナプス伝達および細胞間コミュニケーションの基礎となる。RAB3A (MIM 179390) は、エキソサイトーシスの後期に作用すると考えられる低分子Gタンパク質であり、RPH3AはRAB3Aのエフェクターであ

る (Lin et al., 2007 [PubMed 17149709])。[OMIM 提供、2008年7月],機能: タンパク質輸送。おそらく Ras 関連タンパク質 Rab-3A と共にシナプス小胞輸送および / またはシナプス小胞融合に関与している。神経終末における膜流動を調節することで神経伝達物質の放出に関与している可能性がある。類似性: FYVE 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。類似性: RabBD (Rab 結合) ドメインを 1 つ含む。類似性: C2 ドメインを 2 つ含む。、

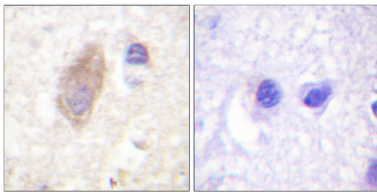
研究分野

神経伝達; 分泌小胞; RABS; 神経科学; 細胞型マーカー; ニューロンマーカー; シナプスマーカー

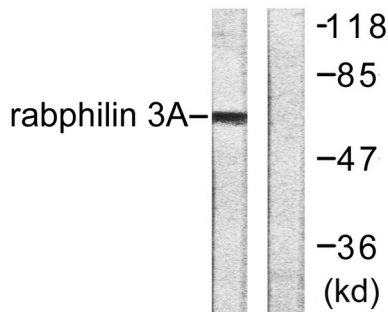
画像データ



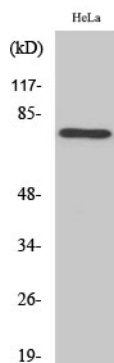
Rabphilin 3A 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ラブフィリン 3A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TNF- α 20 ng/ml 2 'で処理した HeLa 細胞ライセートの Rabphilin 3A 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ラブフィリン 3A ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析